

事務事業名	三国学校給食センター管理事業		事業コード	10060400202	
所管部署	三国学校給食センター	電話	81-3571	記入者名	
事業対象	児童・生徒				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	学校教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画	無				

「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】  
 中学校1校（三国）、小学校6校（三国南・三国北・雄島・加戸・三国西・木部）幼稚園5園（三国南・三国北・雄島・加戸・三国西）、総計12施設の給食を提供する。  
 その他、保育所7箇所（南・中央・新保・みくに未来・宿・安島・加戸）についても福祉予算（保育園費）にて提供している。

◆三国学校給食管理事業 三国 156,810千円  
 ○需用費 138,229千円  
 ・消耗品費、印刷製本費 3,477千円  
 ・燃料費、光熱水費 20,433千円  
 ・修繕料（施設等修繕、給食備品修繕他） 982千円  
 ・賄材料費（給食材料費） 113,337千円  
 ○役務費（検査手数料・自動車保険料他） 737千円  
 ○委託料（害虫駆除委託料他） 16,754千円  
 ○使用料及び賃貸料（食器一式賃貸借他） 121千円  
 ○備品購入費（給食用備品購入費他） 955千円  
 ○負担金（学校給食センター連絡協議会負担金） 6千円  
 ○公課費（自動車重量税） 8千円

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	学校給食費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	16,754千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	138,228千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	737千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,091千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	156,810千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	20.00人	141,500千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	8.00人	17,056千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	28.00人	158,556千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費		315,366千円		千円		千円		千円
		事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金	千円		千円	千円	千円	千円				
地方債	千円		千円	千円	千円	千円				
その他	111,561千円		千円	千円	千円	千円				
一般財源	203,805千円		千円	千円	千円	千円				
財源合計		315,366千円		千円		千円		千円		

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	地場産食材利用率（6月調査）	目標値		達成率		達成率
		実績値	55.2	---	50.2	---
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
有効性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
すぐにできる改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

【事業の成果】